

# 議員と一緒に 考える会 第2弾開催 ご報告!



6月に続いて行われた「議員と一緒に考える会」第2弾は、議会改革のご報告&議員定数を考える!の2本立てとなりました。

新島・式根島3会場で15名、10代から70代まで、幅広い年代の方にご参加いただきました。各会場でも時間一杯まで対話することができました。誠にありがとうございます。

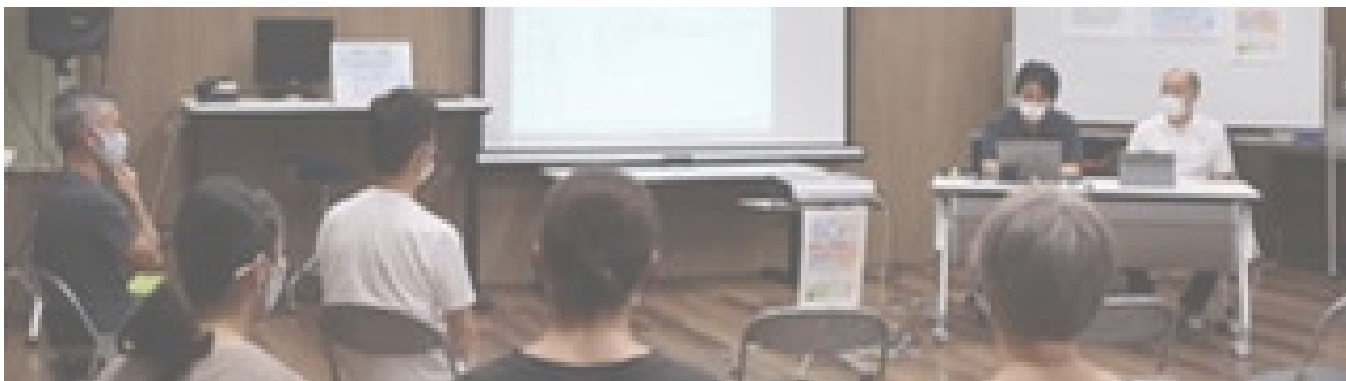
※(会場名+発言者イニシャル(名姓) 本:本村会場、若:若郷会場、式:式根島会場)

## 議会改革の手応えは?

- 議会の広報、ペーパーレス化、素晴らしいと思った。ずいぶん変わってきている。(本:HIさん)
- ICT機器が使えないと議員になれないということはないか?(式:HYさん)  
←音声入力など便利な機能もある。習熟度は、折衷案を目安にしている。議会全体としても強制ではなく勉強会など努力して取り組んでいる。(議員)
- 一問一答方式:聞いている方が迷子になりづらい。(本:TNさん) 国会みたいで良いと思った。(本:SMさん) 細かく聞けて良い。(本:TKさん)

## 定数は削減が維持か?

- 削減したほうがいいという話は聞かない。選挙活動以外の議員の活動が見えない。(式:TFさん)
- 議員が何をやっているかよく分からない。プロとしての立場なのか、何人がかりでどれだけ動くか?。(式:HYさん)
- 判断基準が分からない。なぜ削減か?それで業務が回るのか?人口減は説得力はない。(本:HIさん)
- 話しを聞いて定数削減・維持、どちらも判断できない。無投票が衝撃的。村議選は絶対にやって欲しい。(式:HMさん)
- 二択で話す内容ではないと思った。意見するにはそれなりに議員の仕事が分かってないと。一緒に勉強を!(本:TNさん)
- 30年前から選挙結果を集めている。やはり選挙になって欲しいかった。議員は定例会以外にも集まって!(若:HTさん)
- 無投票でも得票率で信を問う方法があっても?(本:TKさん)



## 議員のなり手を増やすには?

- 熱度があるほど際限が無い。その報酬ではおすすしづらい。人材不足で従業員を確保して出馬する選択肢がとれない。話す場を作り、人の間に入り、住民全体に興味をもってもらうように。(式:TFさん)
- 高校生のときに興味がなかったが、立候補者の選挙演説を聴いて関心をもてた。(本:SMさん) 街頭演説が終わるまで聞くよう、子に伝え、家族でも話している。ぜひ選挙になるように!(本:YMさん)
- 昔から家に集まって話をしてきたが、当時は地域政治が賑わっていた。親戚が多いところが受かるのは嫌い。(若:HTさん)
- 仕事が見えない(大変さ、業務内容、拘束日程?)ので、若い人たちは立候補しづらい。こういうことができますよ!という見える化も!(本:HYさん) 議員になったら、どう生きがいになるのか。それが見えれば、若い人にもやってみようと思える。(本:HIさん) 憧れの職業ではなくなっている⇒衰退期の中で難しいが楽しく仕事をしている“姿”を見せて欲しい。新しい課題解決(デジタル活用)も!(本:TNさん)

総務常任委員会での審議および  
議員と一緒に考える会は続きます。  
ぜひ裏面をご覧ください!

当日のスライドや、  
オンライン開催の  
紹介は裏面へ